

地域計画(案)

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年5月30日 ()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美浜町 (234460)
地域名 (地域内農業集落名)	奥田地区 (中奥田、北奥田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	221.05 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	137.72 ha
② 田の面積	93.46 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	127.59 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】 ・田の中心経営体は地区内で確保できている。 ・田は担い手が多いため、経営農地を拡大することが可能である。 ・圃場内に耕作放棄地は見受けられない。 【課題】 ・畑の整備、担い手の確保。 ・みかん畑等の果樹園地の山林化。 ・農地の集積・集約を進める。 ・中間管理への移行を進める。 ・地区内で担い手を確保できる環境の整備。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・現在の農地については担い手が確保されているため、今後も効率を上げるため集約を行う。 ・水稻栽培を引き続き行う。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
現在地域の担い手によって水田の営農ができていたため、今後は地区内で後継の担い手を確保できる体制を整え、農地の集積、集約の推進を行い、耕作放棄地がないよう現状を維持していく。畑の担い手を確保する。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	15.4	%	将来の目標とする集積率	15.4	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
状況把握に務め、担い手に集約を図る。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
担い手の育成、確保を行い、随時農地集積を推進する。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
担い手の受け入れ、育成体制を整え、中間管理機構を活用し集積、集約化を行う。	
(3)基盤整備事業への取組	
土地改良施設の長寿命化をしていくため補修活動を継続的に行う。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
水田、畑それぞれの担い手の育成、確保する。	
(5)農業協同組合等の農業サービス事業体等への農作業委託の取組	
農業支援サービスは現在利用していないため、地域全体で保全管理に努める。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				
⑦引き続き草刈り等の維持管理を保全会で行う。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		露地野菜	0.13 ha		露地野菜	0.13 ha		A	
利用者		水稲 露地野菜	0.12 ha		水田	0.12 ha		B	
利用者		水稲	0.53 ha		水稲	0.53 ha		C	
利用者		水稲 露地野菜	1.3 ha		水稲 露地野菜	1.3 ha		D	
認農		成鶏 育成鶏	24000 6000 羽		成鶏 育成鶏	24000 6000 羽		E	
認農		水稲 きゅうり みかん	2 ha		水稲 きゅうり みかん	2 ha		F	
認農		花き 露地野菜	2.5 ha		花き 露地野菜	2.5 ha		G	
認農		水稲 露地野菜	4.9 ha		水稲 露地野菜	4.9 ha		H	
認農		水稲 みかん	1.4 ha		水田 みかん	1.4 ha		I	
認農		水稲 露地野菜	2.02 ha		水稲 露地野菜	2.02 ha		J	
利用者		水田 露地野菜	1.2 ha		水田 露地野菜	1.2 ha		K	
認農		果樹	0.42 ha		果樹	0.42 ha		L	
認農		水稲 露地野菜	0.66 ha		水稲 露地野菜	0.66 ha		M	
認就		露地野菜	0.58 ha		露地野菜	0.58 ha		N	
利用者		水稲 露地野菜	3.5 ha		水稲 露地野菜	3.5 ha		O	
認農		きゅうり 水稲	0.62 ha		きゅうり 水稲	0.62 ha		P	
利用者		きゅうり 果樹	0.14 ha		きゅうり 果樹	0.14 ha		Q	
認農		きゅうり	0.54 ha		きゅうり	0.54 ha		R	
認農		イチジク	1.7 ha		イチジク	1.7 ha		S	
認農		きゅうり	0.37 ha		きゅうり	0.37 ha		T	

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		果樹	0.38 ha		果樹	0.38 ha		U	
認農法		果樹	4.5 ha		果樹	4.5 ha		V	
認農法		露地野菜	0.5 ha		露地野菜	0.5 ha		W	
認農法		花き	0.41 ha		花き	0.41 ha		X	
認農法		露地野菜	2.69 ha		露地野菜	2.69 ha		Y	
利用者		果樹	1.7 ha		果樹	1.7 ha		Z	
利用者		いちご	0.33 ha		いちご	0.33 ha		AA	
計	27経営体		35.14 ha 30000 羽	1a		35.14 ha 30000 羽	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり) (留意事項)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。